

令和元年度 岐阜県農薬管理指導士認定試験問題

指示があるまで開けてはいけません

【 注 意 事 項 】

- 1 問題は、40問あります。
- 2 設問ごとに答えを一つ選んで、その番号を各問題右下の□に記入してください。
- 3 □に、選択肢の1～4以外の番号を記入した場合及び1～4の番号を2つ以上記入した場合は「無効」となります。
- 4 問題の内容に関する質問には、一切お答えできません。
- 5 問題は、3ページから18ページまでです。落丁、印刷ミス等がある場合は挙手してください。
- 6 試験開始後、30分間は退場できません。また、退場した方は、再び入場することはできません。
- 7 退場するときは、問題用紙を閉じ、この面を表にして各自の机の上に置き、忘れ物のないように静かに退場してください。
- 8 下欄に「受講番号」及び「氏名」を記入して開始の合図までお待ちください。

受講番号		氏 名	
------	--	-----	--

【植物防疫一般】

問1 次の文章は、植物防疫について記述したものである。(ア)から(ウ)に入る語句の組合せとして、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

植物防疫とは、病虫害がまん延して農作物に被害を与えるのを防ぐための総合的、かつ組織的な施策であり、病虫害の発生を科学的に予測する(ア)、農薬使用や耕種的手法を組み合わせた(イ)、海外等からの重要病虫害の侵入を防止するための(ウ)を有機的に組み合わせて実施される。

	(ア)	(イ)	(ウ)
1	病虫害防除	病虫害発生予察	植物検疫
2	病虫害発生予察	病虫害防除	植物検疫
3	植物検疫	病虫害発生予察	病虫害防除
4	病虫害発生予察	植物検疫	病虫害防除

解答

問2 病虫害発生予察情報について記述した次の文章の(ア)から(ウ)に入る語句の組合せとして、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- ・ 新しい病虫害が発見されたあるいは、重要な病虫害の発生状況が例年と異なるなど特異的な現象が認められたときに発表される情報は(ア)である。
- ・ 重大な病虫害が大発生することが予想され、すぐにでも防除する必要があるときに発表される情報は(イ)である。
- ・ (イ)を発表するほどではないが、重要な病虫害が多発生することが予想され、早めに防除したほうがよい場合に発表される情報は(ウ)である。

	(ア)	(イ)	(ウ)
1	特殊報	警報	注意報
2	特殊報	注意報	警報
3	警報	注意報	特殊報
4	注意報	特殊報	発生予報

解答

問3 無人航空機の利用に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 無人ヘリコプターや小型の無人航空機(いわゆるドローン等)を農薬散布に利用する場合は、飛散が少ないため周辺住民や学校等公共施設に事前周知しなくてよい。
- 2 無人ヘリコプターや小型の無人航空機の中散布は、農林水産省が制定した「空中散布等における無人航空機利用技術指導指針」に基づき、安全かつ適正な実施を図られている。
- 3 無人ヘリコプターや小型の無人航空機を農薬散布に利用する場合、事前に国土交通大臣の許可・承認を受ける必要がある。
- 4 無人ヘリコプターや小型の無人航空機による農薬散布は、農作業の効率化及び低コスト化に大きく寄与するものであるが、住民の環境意識が高まるなか全国的に減少傾向にある。

解答

【農薬取締法】

問4 次の文章は農薬取締法の第一条(目的)の部分である。空欄にあてはまる言葉の組み合わせのうち正しいものを選びなさい。

この法律は、農薬について(A)の制度を設け、(B)を行うことにより、農薬の安全性その他の品質及びその安全かつ適正な使用の確保を図り、もって農業生産の安定と(C)に資するとともに、国民の生活環境の保全に寄与することを目的とする。

(A)	(B)	(C)
1 登録	販売及び保管の規制等	国民の健康の保護
2 登録	販売及び保管の規制等	食糧の安定供給
3 登録	販売及び使用の規制等	国民の健康の保護
4 届出	販売及び使用の規制等	食糧の安定供給

解答

問5 次の文章は農薬取締法の第二条(定義)の部分である。(ア)～(ウ)にあてはまる語句の組合せとして、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

この法律において「農薬」とは、(ア)を害する菌、線虫、だに、昆虫、ねずみ、草その他の動植物又はウイルスの防除に用いられる(イ)、殺虫剤、(ウ)その他の薬剤及び農作

物等の生理機能の増進又は抑制に用いられる成長促進剤、発芽抑制剤その他の薬剤をいう。

	(ア)	(イ)	(ウ)
1	農作物	殺菌剤	除草剤
2	園芸作物	殺菌剤	除草剤
3	農作物	殺菌剤	殺そ剤
4	園芸作物	殺菌剤	殺そ剤

解答

問6 農薬の登録が失効する場合として間違っただけものを、次から一つ選びなさい。

- 1 農薬の種類、名称、物理的・化学的性状並びに有効成分とその他の成分との別にその各成分の種類及び含有濃度（農薬原体の有効成分以外の成分の種類及び含有濃度を除く。）に変更が生じたとき。
- 2 登録を受けた者が、その登録に係る農薬の製造若しくは加工又は輸入を廃止した旨を届け出たとき。
- 3 登録を受けた法人が解散した場合において、その清算が終了したとき。
- 4 農薬原体の主要な製造工程が変わったとき。

解答

問7 次の文章は、農薬の販売者の届出期間に関する規程である。（ア）～（ウ）にあてはまる語句の組合せとして、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

農薬の販売者の届出は、新たに販売を開始する場合にあつてはその（ア）までに、販売所を増設し、又は廃止した場合にあつてはその増設又は廃止の日から（イ）に、届出に掲げる事項に変更を生じた場合にあつてはその変更を生じた日から（ウ）に、これをしなければならない。

	(ア)	(イ)	(ウ)
1	開始の日二週間前	二週間以内	二週間以内
2	開始の日	二週間以内	二週間以内
3	開始の日	二週間以内	10日以内

4 開始の日二週間前 二週間以内 10日以内

解答

問8 次の文章は、除草剤を農薬として使用することができない旨の表示の規定である。(ア)～(ウ)にあてはまる語句の組合せとして、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

農薬以外の除草剤を販売する者は、その(ア)に、当該除草剤を農薬として使用することができない旨の表示をしなければならない。ただし、当該除草剤の(イ)にこの項の規定による表示がある場合は、この限りでない。

農薬以外の除草剤の小売を業とする者は、その販売所ごとに、(ウ)に、除草剤を農薬として使用することができない旨の表示をしなければならない。

- | (ア) | (イ) | (ウ) |
|----------|--------|------------|
| 1 容器又は包装 | 添付文書 | 公衆の見やすい場所 |
| 2 容器又は包装 | 容器又は包装 | 公衆の見やすい場所 |
| 3 容器又は包装 | 容器又は包装 | 従業員の見やすい場所 |
| 4 容器又は包装 | 添付文書 | 従業員の見やすい場所 |

解答

問9 「農薬を使用する者が遵守すべき基準を定める省令」で定められた、農薬使用者の遵守及び努力規定に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 農薬は安全性が確認されて登録されているので、食用農作物及び飼料作物に農薬を使用する場合は、適用農作物等の範囲に含まれない作物にも使用できる。
- 2 ゴルフ場において農薬を使用しようとするときは、毎年度、使用しようとする最初の日までに、農薬使用計画書を農林水産大臣及び環境大臣に提出しなければならないが、変更するときには提出する必要がある。
- 3 住宅地等の周辺で農薬を使用するときは、農薬の表示事項を遵守することに加えて、農薬が飛散することを防止するために必要な措置を講じるよう努めなければならない。
- 4 購入苗の定植後に農薬を使用する場合、購入前の苗に使用された農薬の回数は、総使用回数に含めない。

解答

【毒物・劇物取締法】

問 1 0 毒物劇物取扱責任者に関する次の記述のうち、正しいものを 1～4 の中から一つ選びなさい。

- 1 医師は毒物劇物取扱責任者になることができる。
- 2 薬剤師は毒物劇物取扱責任者になることができる。
- 3 毒物及び劇物の一般販売業を行う者であれば、毒物及び劇物を直接取り扱うことがあっても、毒物劇物取扱責任者を設置する必要はない。
- 4 岐阜県知事が行う毒物劇物取扱者試験に合格した者は、愛知県に存在する毒物劇物販売業の店舗において、毒物劇物取扱責任者になることはできない。

解答

問 1 1 毒物劇物の譲渡等に関する次の記述のうち、正しいものを 1～4 の中から 1 つ選びなさい。

- 1 毒物又は劇物は、15 歳未満の者に対しても交付することができる。
- 2 毒物劇物営業者は、譲受人が押印した書面の提出を受けなければ、毒物又は劇物を毒物劇物営業者以外の者に販売し、又は授与してはならない。
- 3 毒物劇物営業者は、毒物又は劇物の販売について、交付を受けた者の氏名、住所を記載した帳簿を保管する義務はない。
- 4 毒物又は劇物に該当する農薬を購入し散布する場合でも、毒物劇物営業者の登録が必要である。

解答

問 1 2 毒物及び劇物取締法第 12 条に規定されている毒物の容器の表示方法に関する次の記述のうち、正しいものを 1～4 の中から 1 つ選びなさい。

- 1 白地に赤色で「毒物」と表示する。

- 2 「医薬用外」の文字及び白地に赤色で「毒物」と表示する。
- 3 赤地に白色で「毒物」と表示する。
- 4 「医薬用外」の文字及び赤地に白色で「毒物」と表示する。

解答

【食品衛生法】

問13 食品衛生法に定められている食品の規格又は基準に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 農産物等への農薬の使用時期、使用量について具体的に基準が定められている。
- 2 規格又は基準に合わない食品を輸入し、保存し、販売することはできない。
- 3 残留農薬基準が設定されていない農薬は、食品に一切含まれてはならない。
- 4 食品の残留農薬の基準は、農林水産大臣が定めている。

解答

問14 食品衛生法に定められる食品等事業者が努めるべき責務として、誤っているものはどれか。

- 1 販売食品等の安全性確保に係る知識及び技術の習得
- 2 販売食品等の自主検査の実施
- 3 販売食品等の衛生に関する検査能力の向上
- 4 販売食品等の原材料の安全性の確保

解答

【農薬一般】

問15 農林水産省で大別される農薬の用途別分類の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 殺虫剤とは、有害な昆虫（害虫）を防除する薬剤で、昆虫ではないダニや線虫を対象とした殺ダニ剤や殺線虫剤は含まれない。
- 2 殺菌剤とは、有害な菌（病原細菌、病原糸状菌）を防除する薬剤で、ウイルス病防除剤は含まれない。

- 3 殺虫殺菌剤とは、殺虫剤と殺菌剤の混合製剤である。
- 4 殺そ剤とは、モグラを駆除するための製剤である。

解答

問16 農薬に求められる特性の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 対象となる病害虫や雑草に対する効力がすぐ失われるもの。
- 2 農産物中に残留しやすいこと。
- 3 貯蔵中の品質が一定であること。
- 4 専業農家が使用するのにふさわしく、家庭菜園では安易に購入できないような高価格であること。

解答

問17 次の文章の（ A ）および（ B ）に当てはまる語句の組み合わせのうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

薬剤抵抗性の発達を遅らせるには、（ A ）系統の薬剤のローテーション散布や（ B ）防除方法を組み合わせた薬剤抵抗性管理が必要である。

- | （ A ） | （ B ） |
|-------|-------|
| 1 同じ | 他の |
| 2 異なる | 同じ |
| 3 同じ | 同じ |
| 4 異なる | 他の |

解答

問18 農薬の開発の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 今後求められる農薬は、標的外の生物にも影響が高く、どんな病害虫にも効果が得られることが開発の目標とされている。
- 2 目的にかなう化合物として選抜されたもののうち、最終的に新農薬として成功する確率は、

現在で1／16万以下といわれている。

- 3 1剤を開発するのに必要とする経費は2000万円～3000万円といわれている。
- 4 新農薬を創出する企業が、農薬として有望な化合物として特許を出願した場合、特許によって保護される開発者の先行優先権は出願日から100年間である。

解答

【農薬安全性評価】

問19 農薬散布時のリスクに関する次の記述のうち、(A)～(C)に当てはまる語句の組み合わせのうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

作物に散布する時には、まず農薬に触れたり吸引したりすること等による(A)へのリスク(健康影響)が考えられる。また、散布対象の(B)へのリスク(薬害)のほか、近接する他の作物に(C)した場合のリスクも考えられる。

- | | (A) | (B) | (C) |
|---|-----|-----|-----|
| 1 | 散布者 | 作物 | 飛散 |
| 2 | 消費者 | 農地 | 接触 |
| 3 | 散布者 | 農地 | 飛散 |
| 4 | 消費者 | 作物 | 接触 |

解答

問20 農薬の安全性評価に関する用語の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 ADIとは、急性参照用量のことである。
- 2 ARfDとは、一日摂取許容量のことである。
- 3 残留農薬基準は、食品衛生法に基づき設定されている。
- 4 ppmとは、1／1,000という意味である。

解答

問21 農薬の安全性評価での毒性試験の概観に関する次の記述のうち、(A) ～ (D) に当てはまる語句の組み合わせのうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

ヒトや有用生物に対する毒性を調べるために行われる毒性試験は、大きく分けて、(A) 期間に多量の農薬を摂取した場合の毒性（急性毒性）と、(B) 期間に微量の農薬を摂取しつづけた場合の毒性（長期毒性、慢性毒性）を試験するものに分けられる。前者の急性毒性試験は主に農薬の(C) への影響を、後者の長期毒性試験は農薬が使用された農作物を(D) に与える影響を意味する。

	(A)	(B)	(C)	(D)
1	短	長	購入者	扱う人（調理者等）
2	長	短	使用者	食べる人（消費者等）
3	長	短	購入者	扱う人（調理者等）
4	短	長	使用者	食べる人（消費者等）

解答

問22 農薬リスクの実態に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 残留農薬基準や登録基準は、相当の安全を見込んで設定されており、通常、基準値に比べて僅かな量しか検出されないことが多い。
- 2 厚生労働省は、輸入食品について監視指導結果を公表しており、平成29年度では、全検査件数のうち残留農薬での違反は5%以上である。
- 3 河川等の公共用水域では、農薬が検出されることはない。
- 4 水田農薬の場合、水田水中に溶出した農薬のほとんどは水田土壌に吸着されない。

解答

【害虫防除】

問23 次の殺虫剤抵抗性対策に関する記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 殺虫スペクトルが広く残効が長い薬剤は比較的抵抗性が発達しにくく、天敵にも影響が弱いものが多いので活用できる。

- 2 天敵に影響が少ない選択性殺虫剤を活用し、土着天敵や導入天敵を有効に活用する。
- 3 連続した世代に同一の作用機構を持つ薬剤を使用することが基本となる。
- 4 対象害虫の殺虫剤に対する感受性は、卵→幼虫→成虫に至るそれぞれのステージによって変わらない。

解答

問24 次の記述のうち、()に入る語句として、正しいものはどれか。

「昆虫が、自分の体外へ発散して同種の他個体に生理的あるいは行動上の刺激を誘発する化学物質を()と呼び、雌雄の間で性的刺激を誘発する()を性()という。一部の害虫では性()をほ場に設置して害虫を誘引したり交尾を阻害することにより、害虫を防除するという利用法がある。」

- 1 ホルモン
- 2 カイロモン
- 3 フェロモン
- 4 シノモン

解答

問25 次の害虫と関連する作物名および加害様式の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

【害虫】	【作物名】	【加害様式】
1 ハスモンヨトウ	ダイズ	外部から茎葉部を吸汁する。
2 チャバネアオカメムシ	カキ	外部から果実を吸汁する。
3 コナガ	トマト	外部から茎葉部を吸汁する。
4 アブラムシ類	キュウリ	幼虫が葉を食害する。

解答

【病害防除】

問26 病原菌の伝染方法や病気の発生に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい

- 1 糸状菌は孢子等によって伝染し、植物表皮組織を破壊して自力で植物に侵入することができる。
- 2 細菌は風雨で伝搬するが、管理作業等で植物へ侵入することはない。
- 3 ウイルス病は種子伝染し、アブラムシやウンカなどの昆虫とは関係がない。
- 4 温度や湿度は、病害の発生に大きな影響は与えない。

解答

問27 殺菌剤耐性と防除対策に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 薬剤の使用は、防除効果が高い同系統の薬剤を連用する方がよい。
- 2 薬剤耐性菌が一度発生すると、その薬剤の使用を中止してもその後の耐性菌発生比率は上がり続ける。
- 3 殺菌剤耐性菌は、他系統の薬剤と輪用あるいは交互使用（ローテーション）すれば、絶対発生しない。
- 4 FRAC（殺菌剤耐性菌対策委員会）は薬剤使用ガイドライン等を公開している。

解答

問28 病害防除に関する次の記述として、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 病害防除を行うときは、病気の原因菌の特定（診断）が重要である。
- 2 化学的防除法とは、微生物農薬や弱毒ウイルスを利用した防除である。
- 3 抵抗性台木や抵抗性品種の利用は効果がなく、非経済的な防除法である。
- 4 環境保全型農業とは、化学農薬を最大限に使用して病虫害の被害を抑制するものである。

解答

【雑草防除】

問29 次の畑雑草のうち、畑一年生夏雑草を1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 スズメノテッポウ
- 2 メヒシバ
- 3 ヤエムグラ
- 4 スギナ

解答

問30 雑草の発生生態に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 雑草の種子や塊茎などは、成熟後しばらく休眠をしたのち、夏雑草では冬、冬雑草では夏をそれぞれ越して、各雑草の適当な温度、水分条件になると発芽する。
- 2 水田ではキシウスズメノヒエなど、畑ではスギナなど茎の節から盛んに発芽する種類は、ロータリー耕で切断すると、すべて枯死する。
- 3 除草剤の多くは特定の雑草に効き、ある種の雑草に効果がないという選択性を持っているため、特定の除草剤を長年連用しても、その除草剤の効果は変わらない。
- 4 播種または植え付け後、一定期間、雑草の発生や生育を抑えて、雑草害の回避できる期間を雑草生育期間という。

解答

問31 雑草の防除方法に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 イネ科選択性の除草剤は、イネ科植物に害が少なく、広葉植物に害が強い特性を持っている。
- 2 除草剤は一般に高温ほど活力が高まり、どんなに高温であっても作物に薬害を起こすことはない。
- 3 除草剤は、雑草の発生前もしくは発生始期に土壌表面に散布して、雑草の発生を抑える土壌処理剤と、生育中の雑草の茎葉部に散布することによって枯殺する茎葉処理剤とに大別される。
- 4 除草剤は、田、畑に生える雑草に適応したものを選択すれば、決められた使用時期を誤っても除草効果は劣らない。

解答

【農薬安全使用】

問32 農薬に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 自家消費のために農産物を栽培し農薬を散布する場合においても、「農薬を使用する者が遵守すべき基準」（農薬使用基準）に従う必要がある。
- 2 航空機（有人ヘリコプター）を用いた農薬使用者のみが、農薬使用計画書を農林水産大臣に提出する必要がある。
- 3 DDT、BHC、パラチオン等27種類の農薬は、省令により販売が禁止されているが、これらを使用することは罰則の対象ではない。
- 4 農薬を使用した際に帳簿（使用記録簿）に記載するよう努めなければならない事項は、農薬を使用した年月日のみである。

解答

問33 農薬のラベル表示に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 農薬の使用量や希釈倍率は使用する際の目安であるため、病虫害が多発した場合は、ラベルに記載された使用量・希釈倍率より多い量や高濃度で使用してもよい。
- 2 同一の有効成分を含有する農薬であっても、農薬の適用農作物は製剤（剤型）によっても異なるため、使用する前に適用の有無を確認する必要がある。
- 3 総使用回数は、農薬の商品ごとに定められているので、有効成分名まで確認する必要はない。
- 4 農薬の容器・包装のラベルには最終有効年月の表示があるが、最終有効年月を過ぎた場合でも品質に問題がないことから、それを使用しないよう努める必要はない。

解答

問34 農薬の安全使用に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 農薬の保管は施設できる専用の場所で行い、保管場所は食品と区別して、直射日光の当たらない冷涼で乾燥した場所で耐震性等を考慮して設置する。

- 2 ガス化しやすい土壌くん蒸剤の散布作業をする際に、厚手のタオルを口元に当てて作業をすれば防護マスクを着用する必要はない。
- 3 手袋は使い捨てをすることが望ましいため、軍手など布製のものを着るのが良い。
- 4 農薬（散布液）を調整する際は、農薬散布作業の前であることから、マスク、手袋、保護メガネなどの保護具を着用する必要はない。

解答

問35 農薬の使用上の注意点に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 農薬散布は、ハウス内でなければ、日中の暑い時間帯に行っても問題はない。
- 2 農薬散布を行う際には防除衣などの防護具を着用するので、散布時に農薬を浴びない工夫（後退散布など）をする必要はない。
- 3 農薬の容器が古くなった場合は、他の容器に移し換え保管を行う。
- 4 体調の優れない時に農薬に触れると中毒になりやすいため、農薬散布の際には事前に体調を整え、少しでも体調不良の時は、散布作業を控えるようにする。

解答

問36 農薬散布時の周辺住民への配慮及び飛散防止に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 公園・街路樹などで病虫害防除のために、やむを得ず農薬を散布する際には、最小限の部位や範囲に留め、人体に影響が少ない農薬を選択する等の配慮に努める。
- 2 住宅地やその周辺等で農薬を使用する場合、農薬散布中に立て札や立て看板を設置すれば、事前に周辺住民に対して農薬の使用目的、散布日時、使用農薬の種類等について、回覧板、チラシなどで十分に周知する必要はない。
- 3 ドリフト（飛散）低減ノズルは、散布粒径が大きいので、風が強い日でも十分な飛散低減効果が期待できる。
- 4 散布圧力を高めて使用すると、散布粒子が粗くなり飛散しにくくなるため、飛散防止対策として有効である。

解答

問37 農薬散布時の環境への配慮及び作物残留に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 すべての農薬は登録に際して、家畜、ミツバチや蚕などの有用昆虫、水産動植物等への影響について、その安全性が確保されているため、それらに対して配慮する必要はない。
- 2 水田で使用する農薬は、散布後すぐに土壌に吸着されるため、散布直後に落水をしてもよい。
- 3 農薬が周辺農作物に飛散した場合でも、速やかに分解されるため特に問題が生じることはない。
- 4 タンクやホース内に薬液を残したまま別の作物に使用すれば、不慮の農薬残留につながる恐れがあるので、農薬散布後にタンクやホースをしっかりと洗浄することが重要である。

解答

【農薬管理指導士の任務】

問38 農薬管理指導士に関する次の記述のうち、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

- 1 岐阜県で農薬管理指導士養成研修を受講するには、農薬使用、販売等の3年以上の実務経験が必要である。
- 2 農薬管理指導士は、農林水産省が認定しており、名称も全国共通である。
- 3 農薬管理指導士は、一度合格すれば更新の必要はない。
- 4 農薬管理指導士は、農薬販売者、農家、ゴルフ場の農薬使用者などに指導・助言を行い、農薬の安全かつ適正な使用の推進に当たることが任務である。

解答

問39 農薬管理指導士に求められる資質に関する次の記述のうち、(ア)～(ウ)に入る語句の組合せとして、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

農薬管理指導士は、その任務を確実に実行するために、常日頃から自らの資質の維持・向上に努めることが必要とされる。農作物などの(ア)に不可欠な農薬が、いかにしてその(イ)が確保されているかを理解し、農薬の適正使用に関する認識を深めた上で、農薬取締法など関係法規、農薬の特性、(ウ)、病害虫・雑草の発生生態や防除に関することなど、農薬全般に関

する一般的な事項についても十分な知識を有することが求められる。

	(ア)	(イ)	(ウ)
1	生育	緊急性	農薬の販売方法
2	安定的な生産	採算性	農薬の販売方法
3	生育	生産性	農薬の適正使用方法
4	安定的な生産	安全性	農薬の適正使用方法

解答

問40 次の文章は、農業生産工程管理（GAP）の定義について述べたものである。（ア）から（ウ）に入る語句の組合せとして、正しいものを1～4の中から一つ選びなさい。

農業生産工程管理（GAP）とは、農業生産活動を行う上で必要な関係法令等の内容に則して定められる（ア）に沿って、農業生産活動の各工程の正確な実施、（イ）、点検及び評価を行うことによる持続的な（ウ）である。

	(ア)	(イ)	(ウ)
1	点検項目	記録	改善活動
2	防除項目	確認	農業活動
3	防除項目	記録	農業活動
4	点検項目	生産	改善活動

解答